

ニッポン

たくさんのお子もたちが参加してくれました

「絵本を届ける運動」は、小学生からお年寄りまで幅広い年齢層の方々にご参加いただいています。個人やグループでのご参加のほか、企業の社会貢献としてのお取り組みも年々増加しています。なかでも、学校単位の参加は多く、2008年度の参加校は122校にのぼります。そのうちの60校はベルマーク教育助成財団が費用を負担して下さる学校支援プログラム(2000年からスタート)で参加しました。



作った絵本を持つ中学生

わたしが作った絵本を、カンボジアの子が読んでくれると思うととてもうれしいです。(中2・女子)
絵本がほとんどない国があることに驚きました。(小4・男子)
こんなに簡単にボランティアができるとは思いませんでした。(小6・女子)

子どもたちからはこのような感想が寄せられています。これからも当運動への参加をきっかけにカンボジアやラオスを身近に感じる子どもたちが増えることを願っています。



各地からの報告

教科書さえも充分にない地方の小学校で

2008年度の報告

2008年はラオス南部のサワンナケート県サイリブ郡とアートサバトーン郡の計47の小学校に木製の図書箱と一緒に配布したのはじめ、ヴィエンチャン特別市内のSVA子ども図書館、子どもの家図書館、ヴィエンチャン県やボリカムサイ県のSVAが支援している学校図書館、サワンナケート県立図書館、ルアンパバーン県立図書館などに配布しました。日本では1年間に約3000タイトルの子どもの本が出版されていますが、こころラオスでは大人向けの本も含めて、1年でたった40-50タイトルしか出版されていません。教科書さえも充分にない地方の小学校で、日本から贈られた素晴らしい絵本が子どもたちの関心を引き付け、本を読むことの楽しさを多くの子どもたちに知ってもらいたいと願っています。

世界遺産の街に絵本を届けます

2009年度の計画

2009年は、主な配布先を世界遺産で有名なルアンパバーン県に移し、二つの郡の小学校に木製図書箱と一緒に配布する予定です。配布の際には各学校から担当の先生に集まってもらい、4日間の研修会を実施します。そこで読書の意味や子どもたちへの読み聞かせの方法、絵本や図書の管理の仕方などを研修してもらい、最終日に各学校の先生に直接手渡します。地方の小学校は未だにバラックのような建物のところも多く、窓やドアもない学校や壁のまったくない屋根だけの学校も多くあります。そうしたところでは、教室内に教材や絵本を放置しておくと、雨に濡れたり、すぐに泥棒に盗まれたりするため、必ず先生の家を持ち帰るか、鍵のかかる箱などに入れておく必要があります。そのためSVAでは、図書室を持たない学校には必ず木製図書箱と共に配布するようにしています。



2009年3月、ラオス到着

ラオス事務所 副所長 川村仁

12,368冊の絵本の点検・修正を担っている方々がいます

みなさんが貼り付けた絵本は、点検・修正作業を行ってから現地に送られます。その作業は、ハンカチの木(千葉・柏市)、おなじ空ネットワーク(長野・松本市)、SVA東京事務所の3ヶ所で行っています。貼り付け作業をした方のこと、絵本を受け取る現地の子どもたちのことを思いながら、1ページずつ見本と照らし合わせながらの地道な作業。いつも愛情を込めて点検していただき、ありがとうございます。



ハンカチの木



おなじ空ネットワーク

地雷が残されている地域での研修会

2008年度の報告

2008年度は、「おはなしと図書館活動に関する研修会」をプーサット、パタンパン、タケオ、コンボンチュナン、カンボト各州にて計7回開催しました。そのうち4回は現職の小学校の校長と図書館員を対象としたもので、89校236人の育成を行いました。研修会の対象地域は、5年前まで内戦状態が続いており、今でも負の遺産として多くの地雷が残されている地域です。小学校の建設が内戦終結の3、4年前からようやく始まったばかりで、子どもたちも絵本に触れる機会がありませんでした。残りの3回は、小学校教員を目指す学生たちが学ぶ教員養成学校における研修会です。この研修会には478人が参加しました。教員養成学校の学生におはなしや絵本の意義など図書館活動について理解してもらうことにより、赴任後すぐにおはなし活動を始めることが期待されます。これらの研修会を通じて1668冊を配布しました。2008年の配布数が少ないのは2009年に配布しなければならぬ冊数が多いため、取っておく必要があったためです。



カンボジアの子どもたち

新たに加わる対象地域

2009年度の計画

2009年度は、パタンパン州で現職図書館員を対象とした最後の研修会が開催されます。また新しい対象地域として内戦時には激戦地域だったバンティミンチエイ州、コンボントム州が加わります。またこれらの地域はタイ国境に住んでいたカンボジア難民が帰還した土地でもあります。パタンパンの81校、バンティミンチエイの74校、コンボントムの5校に各50冊、合計10600冊の絵本が配布される予定です。また引き続き教員養成学校3校を対象にした研修会でも絵本が配布されます。教員養成学校の研修会の際には、学生が使用する養成学校内の図書室に50冊と、付属小学校の図書室に50冊の配布が行われ、研修会後にもおはなしの仕方の復習や、教育実習の際に教材として使用することができるようにしています。

カンボジア事務所 図書館事業課 鎌倉幸子

ラオス



子どもたち

カンボジア

